

東京証券取引所 プライム市場
証券コード 9824



2026年10月期第2四半期
決算説明資料

泉州電業株式会社



決算説明会概要

[企業名] 泉州電業株式会社（証券コード：9824）

[決算期] 2026年10月期第2四半期

[日時] 2026年6月5日（金） 10：30～11：30

[場所] 東京都中央区日本橋室町2-2-1

岡三証券株式会社 室町本店 14階 会議室G

[登壇者] 代表取締役社長 西村元秀

常務取締役経営企画室長 福田勇

東京証券取引所 プライム市場
証券コード 9824



泉州電業の社長の西村です。

本日は、当社の2026年10月期中間決算の説明をさせていただきます。

まずこの決算資料の冒頭に泉州電業の今、力を入れている分野をイラストで表しています。

左側が半導体を表しております。

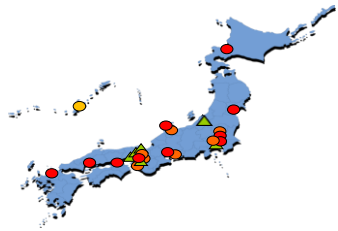
泉州電業にとって半導体は色々な関わり方をしており、まず1つは半導体製造装置。ここでは加工を含め、様々に展開しています。また半導体工場に関しては大きな工場が建っており、そこに電力用ケーブルの販売を行っております。上に上がりましてロボット、その上は自動車、右はビニールハウス、ビニールハウスの土を温める電線を販売しています。その下は再生可能エネルギー、そして制御盤となります。制御盤の加工そのものを受けて展開もしています。この6つが当社の成長分野です。あと下の建物の図は建築関係です。電線は日本国内で約半分は建築関係に使われています。我々もこの建設全般で仕事をしております。また右のカラフルな11月18日とは2018年、日本電線工業会が電線の日を定めました。たまたまその日が泉州電業の創業記念日です。当社としても改めて電線の流通業者としてしっかりと進めていきたいと思っております。

- 1 . 事業概要
- 2 . 2026年10月期第2四半期 決算概要
- 3 . 中期経営計画 SS2027 進捗
- 4 . 参考資料

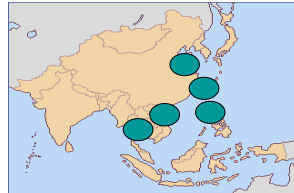
本日は事業概要、決算概要、中期経営計画の進捗状況の説明、後は参考資料を使って追加で説明したいと思います。

1 . 事業概要

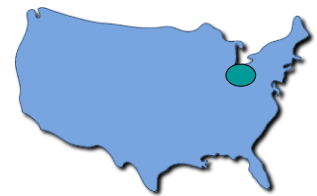
設立	昭和24年（1949年）11月18日
株式	東京証券取引所 プライム市場
資本金	25億 7,520万円
業種	商業（電線総合商社 業界トップクラス）
従業員	859名（平均年令39.3才）
子会社	国内7社／海外7社（中国・台湾・タイ・フィリピン・ベトナム・アメリカ）
事業所	国内18拠点



アジア



アメリカ



SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

5

まず事業概要です。

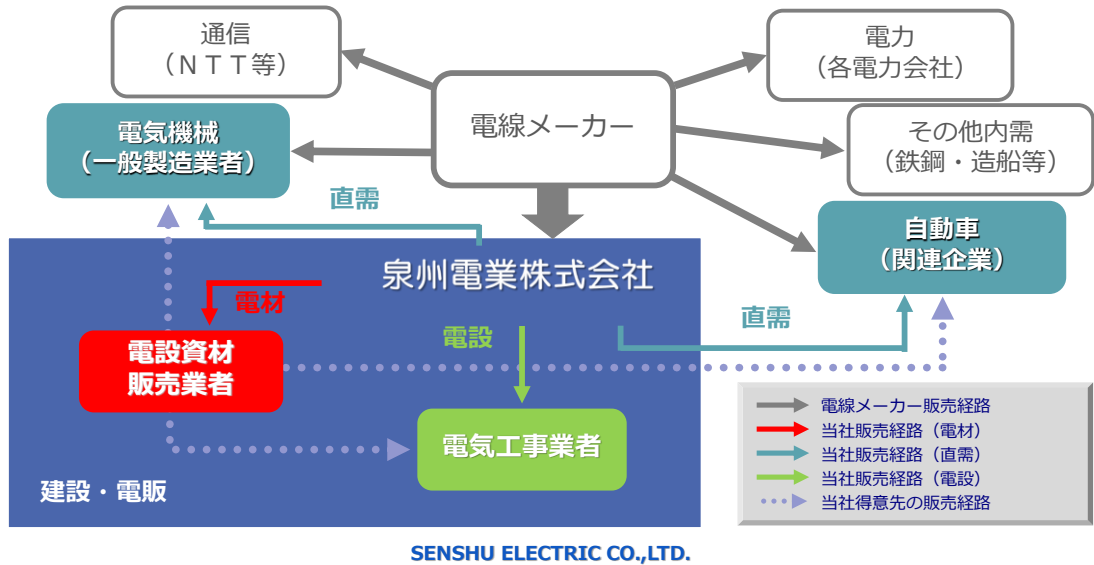
泉州電業は今年で77年になる会社です。1949年創業で、昭和24年の11月18日に大阪でスタートしております。

現在、東証プライム市場に上場しております。

資本金が25億円、業種は電線の総合商社であり、業界トップの会社になります。

従業員数が連結ベースで859名。現在、子会社は国内で7社、海外で7社、国別では中国、台湾、タイ、フィリピン、ベトナム、アメリカで展開しております。

あと国内事業所は北海道から沖縄まで、現在18拠点になり、全国のお客さんをカバーしております。



SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

次に電線の販売経路です。

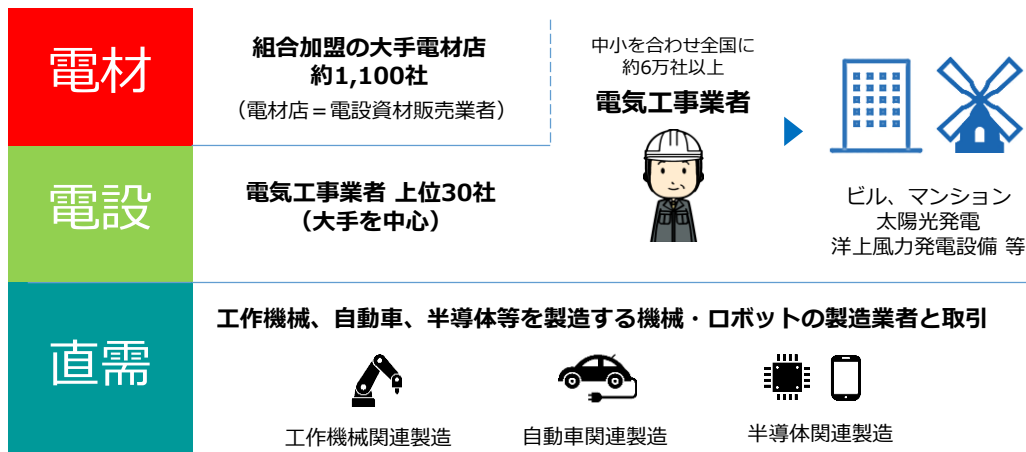
当社は電線メーカーから電線を買って販売、あるいは加工して販売をしています。

電線メーカーが作っている電線は電力会社に販売されるものがあります。あとはNTT等の通信関係に使われる電線は直接販売しています。また民間企業のところで鉄鋼・造船・自動車・電気に関してある程度まとまったところは電線メーカーが直接販売しています。青で囲ったところは建設電販部門であり、一般的な建設関係や住宅関係になります。そこで使われている電線については電線メーカーは当社のような商社を通して販売するという形になっております。そこから電気工事業者に販売しており、大手の電気工事業者に関しては当社が直接販売しています。全国に工事業者は沢山あり、そこに電気材料を納めている電材店が全国に1000社以上あり、そこに我々も電線を納めています。ここが建設電販市場の主な仕事です。あと当社の特徴としては直需があります。本来なら電線メーカーが直に行っているところです。中小の電線メーカーとタイアップして泉州電業からしか買えない電線を作っています。

主な得意先（イメージ）



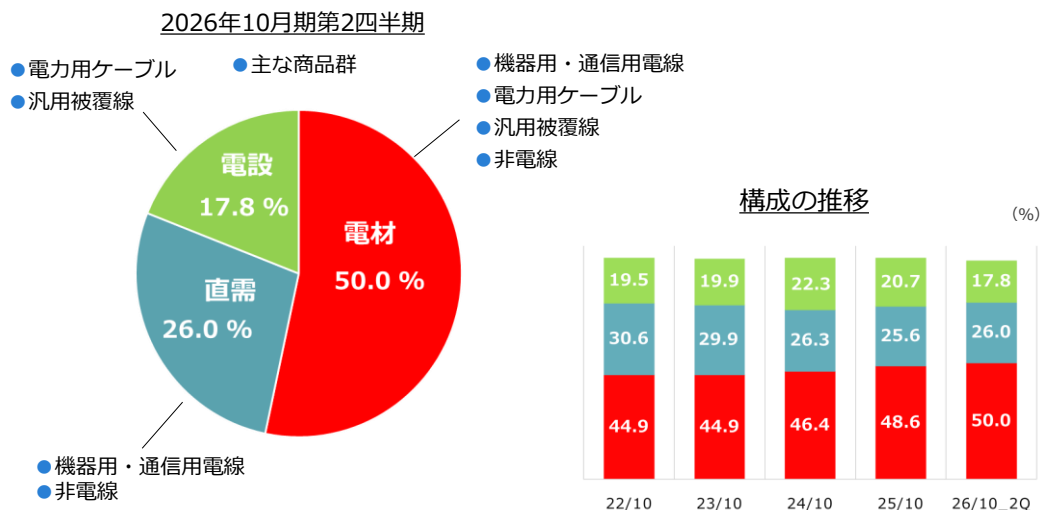
〈得意先数 3,700社以上〉



SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

得意先のイメージです。現在、泉州電業の得意先が3700社以上、連結を含めると4000社を優に超えています。大きく分けて3つに分類できます。1つは電材です。泉州電業が電材店に販売しています。そして電材店から電気工事業者に販売しています。現在組合加盟の電材店で約1100社ございます。当社は77年前に電材店への販売から始まっております。電材店の売上の約20%が電線となっており、他は電気工事材料を扱っています。2つ目は電設です。大手の電気工事業者に関しては我々が直接販売しています。彼らが受ける案件は非常に大きなプロジェクトです。最後は直需です。ここは当社が得意とする機器用・通信用電線を中心に販売しています。販売先は工作機械、自動車の製造ライン、半導体製造装置です。またデータセンターではかなり付加価値の高い機械そのものに据え付ける電線を使っています。あと自動車の生産ラインは工場の中で機械同士を繋げる電線に使われています。

得意先の構成（単体） 2026年10月期第2四半期



SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

8

内訳になります。半分が電材です。直需が約4分の1、電設は上下幅が大きく、今回は約17%です。電材はあらゆる品種を売っています。電設は電力用ケーブルと汎用被覆線が中心、直需は機器用・通信用電線と非電線が中心です。ここは当社のオリジナル商品を販売しています。右の棒グラフは部門別の推移になっております。足元直需が回復し、電材店も回復、電設関係は若干遅れていますが、今年の後半から回復に向かっていく予定です。

3つのビジネスモデル（強み）



1

JUST IN TIME 体制 (ジャスト イン タイム)

電線は約20万種と種類も多く重量物であり、保管場所や盗難等の観点から、在庫しづらい。当社は国内（札幌～沖縄）に倉庫床面積約7万㎡の物流拠点で**5万種以上**を品揃え、“**必要な時に必要な量**”に対応できる体制（**JUST IN TIME**）を整える。



2

オリジナル商品



ロボット等に使用されるケーブル= **FAケーブル**（Factory Automation/ファクトリーオートメーション）を電線メーカーと開発し、当社独自商品（**オリジナル商品**）として販売。多種多様なニーズを的確に捉え、技術商社としての役割を担う。

SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

3

電線端末加工 (ケーブルアッセンブリ)

電線販売以外に端末を付属した電線や制御盤等、**小ロット・多品種・短納期**の加工ニーズに、全国**18拠点中8か所にある加工場**で対応。またグループ会社でも体制を整備し連携を図る。

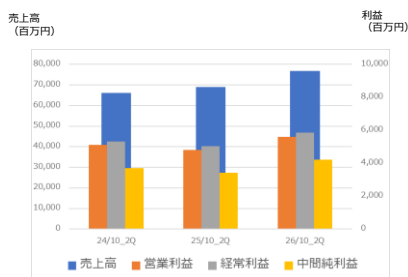


当社は3つのビジネスモデルで展開しています。1つ目はジャストインタイム体制です。電材店はジャストインタイムを非常に好みます。電材店の日々の取引ではなくてはならないものになります。当社は全国18箇所の拠点から24時間以内に届ける体制を持っております。電線は種類が多く、当社は5万種類以上在庫しております。また昨今銅価格が値上がりしているため、お客さんの方で在庫するリスクもあります。具体的には電線が盗まれてしまうリスクがあります。2つ目はオリジナル商品です。中小の電線メーカーとタイアップして長年製品開発、マーケティングを行っております。非常に付加価値の高いケーブルが多く、色んな用途で使われており、油、熱、水に強いことや海外の認証を取っている商品などがあります。3つ目が電線端末加工です。電線を加工して販売という展開を取っております。特に当社が行っている加工は多品種・小ロット・短納期であり、お客さんの近いところで日々コンタクトを取りながら行っております。加工は非常に手間がかかるもので、ここだけだとメリットは少ないですが、これにオリジナル商品を含めて更に当社が得意とする電線を販売できるという展開になっております。

2 . 2026年10月期第2四半期 決算概要

実績

- ・建設・電販向けは資材高騰や人手不足などにより工期の遅れなどがあったが、半導体製造装置向け及び工作機械向けの需要が回復。
- ・銅建値平均は前期比39.2%増の200.9万円/ t



株主還元策

(配当金の増配及び自己株式の取得)

- ・2026年10月期 年間160円予想（当初予想150円）中間配当80円/株、期末配当80円/株（予想）
- ・取得済株式総数89,200株 取得価額総額499,943,500円
(取得期間2025年11月1日～2026年4月30日まで)
- ・自己株式の取得（10万株、6億円（上限）2026年5月1日から2026年10月31日まで）

SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

11

次は決算概要です。

実績としては建設関係は人手不足と資材の高騰による問題もあり、工期がやや遅れています。しかし先を見ますと、沢山の新しい工事も入ってきており、徐々に回復に向かっていくと思います。今回の特徴はようやくこの半導体製造装置向け、工作機械向けが回復してきました。この立ち上げは第2四半期から顕著になってきました。またこの半年間では銅建値が約40%、1トンあたり200万円台まで上がってきているというのが特徴です。これが業績全般を押し上げました。あと同時に株主還元策も出しております。

通期予想の増額修正を行いましたので、株主還元もさらに強化していくため、この中間では5円増配の80円配当を決議しております。また期末配当75円も同じく5円増配して80円とし、年間160円を予定しております。これで13年連続の増配です。また自社株買いも継続しており、この5月から新たに自社株買いを進めております。自社株買いと配当を合わせて総還元率をさらに強化していきます。

連結損益計算書の概況



(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	2025/10_2Q		2026/10_2Q		増 減	
	金 額	%	金 額	%	金 額	%
売上高	68,982	100.0	76,779	100.0	7,797	11.3
売上原価	58,515	84.8	65,317	85.1	6,802	11.6
売上総利益	10,467	15.2	11,462	14.9	995	9.5
販管費	5,669	8.2	5,868	7.6	198	3.5
営業利益	4,798	7.0	5,594	7.3	796	16.6
営業外収益	302	0.4	346	0.5	43	
営業外費用	75	0.1	95	0.1	20	
経常利益	5,025	7.3	5,845	7.6	819	16.3
特別利益	—	—	555	0.6	555	
特別損失	—	—	88	0.1	88	
税金等調整前中間純利益	5,025	7.3	6,312	8.2	1,287	25.6
法人税等合計	1,597	2.3	2,088	2.7	490	
中間純利益	3,427	5.0	4,224	5.5	796	23.2
非支配株主中間純利益	22	0.0	24	0.0	1	
親会社株主中間純利益	3,405	4.9	4,199	5.5	794	23.3
平均銅建値 (千円/t)	1,443		2,009		566	39.2

SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

12

次に損益計算書です。

売上が11.3%の増加、767億円になっております。

これは過去最高の半期の売上となっております。その背景としては銅価格の値上がりと直需関係の売上が回復してきたことが大きいです。あと粗利が114億円ということで、9.5%増えております。粗利率は若干低下しました。販管費が3.5%増えて58億円。営業利益が55億円、16%の増益となっております。

これも過去最高の半期の営業利益となります。それに営業外収益を加えまして、経常利益が58億円、16%の増益となりました。

そこに特別利益、特別損失を加えており、今回の特別利益の中には政策保有銘柄の一部売却も入っております。特別損失は一部子会社の減損等も入れております。

これも含めて中間純利益です。

親会社株主に帰属する中間純利益が約42億円、23%の増益となっております。

この期間の銅価格は平均200万円を超えました。

前年同期に比べて40%近い上昇となりました。

第2四半期（3か月）連結損益計算書の概況



(百万円)

	2025年10月期 2Q (2-4月)		2026年10月期 2Q (2-4月)		増 減	
売上高	32,170	構成比	40,507	構成比	+8,337	25.9%
売上総利益	4,944	15.4%	6,186	15.3%	+1,242	25.1%
販管費	2,851	8.9%	2,945	7.3%	+94	3.3%
営業利益	2,094	6.5%	3,241	8.0%	+1,147	54.8%
経常利益	2,175	6.8%	3,358	8.3%	+1,183	54.4%
親会社に帰属する 四半期純利益	1,459	4.5%	2,543	6.3%	+1,084	74.3%
平均銅建値 (千円/ t)	1,443		2,110		+667	46.2%

SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

13

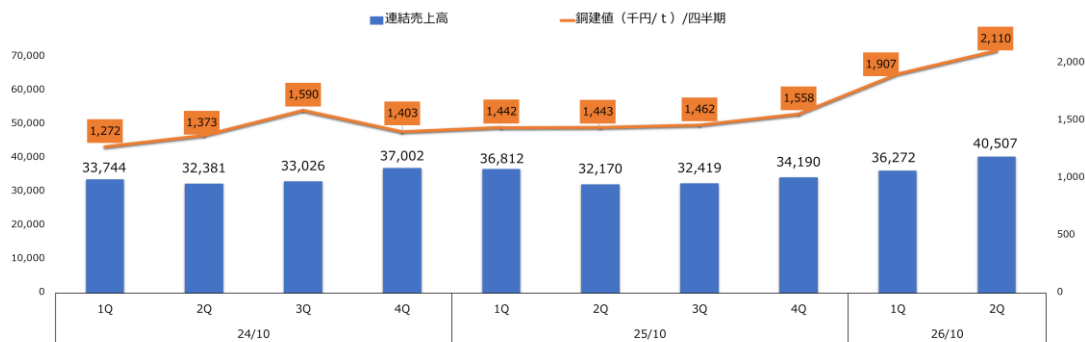
次は第2四半期の3ヶ月、2月から4月までの業績になります。

売上が25%の前年比の増加、粗利が25%の増加、販管費は3%の増加、営業利益が54%の増加、経常利益が54%の増加、最終利益が74%の増加となります。銅価格の上昇も1年前と比べると46%の増加になっております。

連結売上高 四半期推移



(百万円)



SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

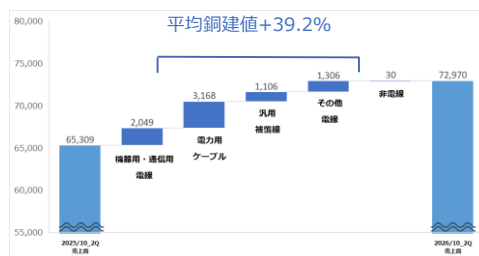
次は四半期の売上の推移になります。この四半期の400億円の売上も過去最高になりました。

商品別売上高（単体）



（単位：百万円）

	2025年10月期		2026年10月期		増減	(前期比)
	2Q実績	(構成比)	2Q実績	(構成比)		
● 機器用・通信用電線	20,409	31.2%	22,458	30.8%	2,049	10.0%
● 電力用ケーブル	26,560	40.7%	29,728	40.7%	3,168	11.9%
● 汎用被覆線	6,086	9.3%	7,192	9.9%	1,106	18.2%
● その他電線	3,237	5.0%	4,543	6.2%	1,306	40.3%
● 非電線	9,016	13.8%	9,046	12.4%	30	0.3%
合計	65,309	100.0%	72,970	100.0%	7,660	11.7%
平均銅建値 (千円/t)	1,443		2,009		566	39.2%

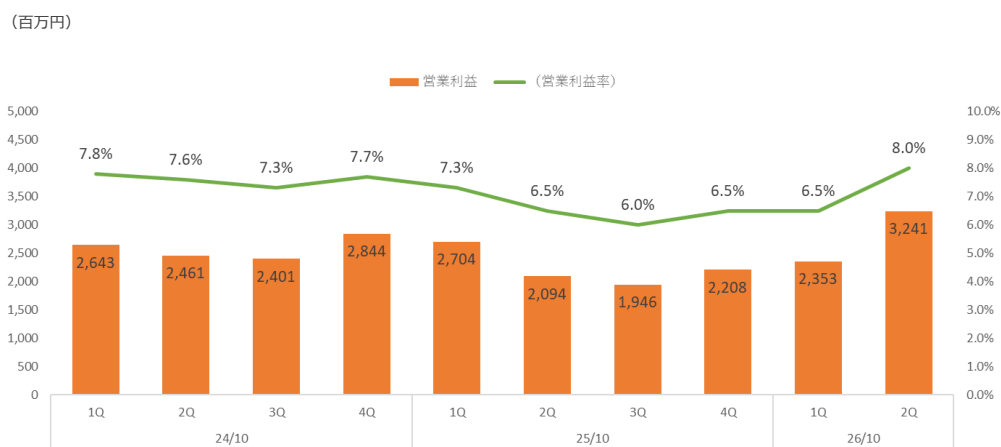


SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

15

泉州電業単体の売上の内訳です。機器用・通信用電線は前年に比べて10%増加しております。売上金額で224億円になります。次に電力用ケーブルが約12%の増加の297億円になります。次に汎用被覆線が71億、18%の増加。ここは住宅関係に主に使われているところです。あとその他電線は45億、40%の増加。あと非電線は90億。売上の伸び自体はややフラットとなっております。ここはコネクタ類や太陽光関係が含まれています。銅建値の影響が大きいのは電力用ケーブル、汎用被覆線、その他電線となります。

営業利益 四半期推移



SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

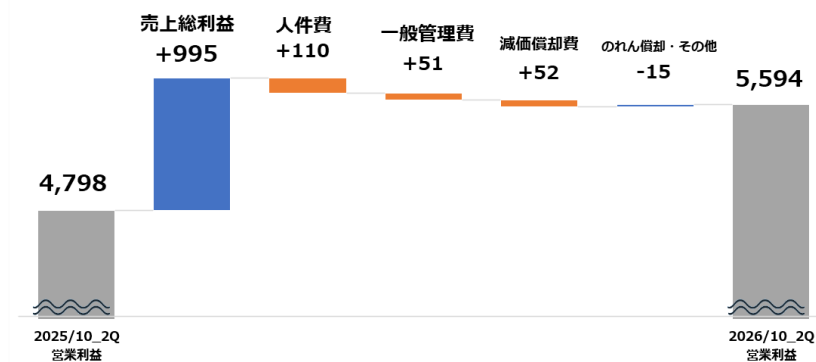
16

営業利益の四半期の動きです。営業利益も過去最高の四半期になり、8%と非常に高い数字になっております。直需関係、特に半導体製造装置、工作機械向けが伸びてきたというのが原動力になっております。

営業利益 増減要因



(百万円)



SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

17

営業利益の増減要因です。粗利が約10億円増えましたが、経費関係が人件費、一般管理費、減価償却費が増加しました。

連結通期予想・見通し（修正）



(単位：百万円,%)

	2025年10月期		2026年10月期			2025年10月期		2026年10月期			2026年10月期			当初予想からの	
	2Q実績	構成比	2Q実績	構成比	前期比	実績	構成比	当初予想	構成比	前期比	修正予想	構成比	前期比	増減額	増減率
売上高	68,982	100.0	76,779	100.0	11.3	135,591	100.0	144,000	100.0	6.2	154,000	100.0	13.6	10,000	6.9
営業利益	4,798	7.0	5,594	7.3	16.6	8,952	6.6	10,700	7.4	19.5	11,200	7.3	25.1	500	4.7
経常利益	5,025	7.3	5,845	7.6	16.3	9,272	6.8	11,000	7.6	18.6	11,700	7.6	26.2	700	6.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,405	4.9	4,199	5.5	23.3	6,717	5.0	7,700	5.3	14.6	8,500	5.5	26.5	800	10.4
平均銅建値（千円/t）	1,443		2,009			1,476		2,000			2,000			35.5	

SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

18

この四半期が非常に良かったため、通期予想を増額修正しました。

元々の予想が去年の12月に発表した売上で1440億円、営業利益で107億円、経常利益で110億円、最終利益で77億円です。一方で新しい予想では売上で1540億円、営業利益で112億円、経常利益で117億円、最終利益で85億円です。足元は銅ベースが非常に高いですが、予想のベースは200万円で想定しております。銅ベースの変動及び半導体、工作機械、自動車関係の動きが後半どう回復していくのかがポイントになってくると思います。

連結貸借対照表の概況



(単位：百万円)

	2025/10	2026/10 2Q	増減		2025/10	2026/10 2Q	増減
現金・預金	32,966	40,222	7,255	買掛金	45,232	54,300	9,067
受取手形・売掛金	22,029	23,507	1,478	電子記録債務	29	22	△ 6
電子記録債権	10,844	12,937	2,092	短期借入金	461	461	0
有価証券	2,000	2,000	—	1年内償還予定の社債	14	14	—
商品	7,807	9,956	2,148	未払法人税等	1,303	2,096	793
仕掛品	107	124	17	賞与引当金	841	862	21
原材料及び貯蔵品	218	224	5	その他流動負債	1,441	1,675	234
その他流動資産	321	457	136				
流動資産合計	76,294	89,428	13,134	流動負債合計	49,323	59,434	10,110
有形固定資産	22,241	21,918	△ 323	社債	14	7	△ 7
無形固定資産	130	186	55	退職給付に係る負債	2,066	2,143	76
投資その他の資産	12,335	12,941	606	その他固定負債	673	576	△ 97
固定資産合計	34,708	35,046	338	固定負債合計	2,755	2,727	△ 27
				負債合計	52,079	62,162	10,082
				資本金	2,575	2,575	—
				資本剰余金	700	821	121
				利益剰余金	55,036	57,949	2,913
				自己株式	△ 2,260	△ 2,649	△ 389
				株主資本計	56,051	58,696	2,645
				包括利益累計額	2,404	3,083	678
				新株予約権	40	47	6
				非支配株主持分	427	485	58
				純資産計	58,923	62,312	3,389
資産合計	111,002	124,475	13,472	負債・純資産合計	111,002	124,475	13,472

SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

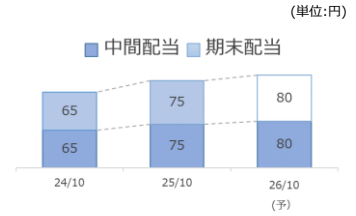
19

次に貸借対照表です。当社は借入金の少ない会社です。自己資本比率も約50%で推移しております。また継続的に自社株買いを行っておりますので、自己株式も増えているというところでは、時期を見てまた消却していく予定です。現預金が約72億円増えております。増えた要因としては第2四半期の最終利益が増えたということが主な要因です。また売上債権が30億円。電子記録債権も増えております。一方で買掛金は90億円増えています。具体的には回収のスピードが支払いよりも早くなっているというところで現預金の積み増しがありました。商品の方が20億円増えている背景としては商品は電線がほとんどですので、銅価格の上昇で商品の価値そのものも上がっております。現在の総資産が1240億円の会社です。

1

配当金（10円増配の年間160円予想）

安定的な配当を基本方針とし、業績・内部留保等を考慮し、総合的に判断して配当を実施。
2026年10月期は**中間配当80円(当初予想75円)**、**期末配当80円予想(当初予想75円)**となり、前期から10円の増配予想。



2

自己株式の取得

株主還元の充実と資本効率の向上及び経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、自己株式を取得中。

- ・取得し得る株式総数 **100,000株** (上限)
 - ・取得価額総額 **600,000,000円** (上限)
- (取得期間 2026年5月1日～2026年10月31日)

3

株主優待（年1回100株以上保有株主様）

1年未満：1000円分のオリジナルQUOカード
1年以上：2000円分のオリジナルQUOカード

SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

20

株主還元策に関して、配当金は年間で10円増配の160円の予想となりました。中間配当75円は80円、期末も同じように5円増配で80円となります。また自社株買いも継続をしております。4月末までの分が終わりましたので、新たに5月1日から上限10万株、6億円を今年の10月末まで継続しております。

また株主優待は1年未満の株主様には1000円のオリジナルQUOカード、1年以上の方には2000円のQUOカードとなっております。

3. 中期経営計画 SS2027 進捗

2024/12/9発表

	2024年10月期 実績	2025年10月期 実績	2026年10月期 予想	2027年10月期 目標	26/10予想比 (進捗率)
連結売上高	1,361億円	1,355億円	1,540億円	1,600億円	↑ 96.3%
経常利益	107億円	92億円	117億円	130億円	↑ 90.0%
ROE	14.4%	11.8%	13.9%	15%以上	↑ 92.7%
配当性向	30.1%	38.7%	32.0%	35%以上	-
株主総還元率	48.0%	58.4%	45.0%	50%以上	-
PBR	1.62倍	1.33倍	1.68倍*	2.0倍以上	↓ 84.0%

*2026年4月末時点

<進捗率の基準> 予想比90%以上：順調 ↑ / 85%以上90%未満：やや遅れ → / 85%未満：遅れ ↓






SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

22

次に中期経営計画です。

まず2027年10月期の数値目標です。前回から変更はありません。

売上で1600億円、経常利益で130億円ということで、新しい予想が達成されますと、進捗率売上で96.3%、経常利益は90%になります。またROEは今期の予想の達成で13.9%になるため、あと1ポイントで15%に届きます。配当性向、株主還元も並行して進めていきたいと思ひます。PBRは株価が影響しますので、しっかりと株主価値を上げていくように中期経営計画を進めていきたいと思ひます。

	2025年10月期	2026年10月期	2027年10月期	業種
半導体関連 	→ ・AI特需で急成長も地域差あり ・一部在庫調整の名残り	↘ ・AI関連需要が市場を牽引 ・2027年に向け回復加速	↘ ・AI需要継続	直需 電材
工作機械関連 	→ ・製造業者の生産計画底打ち	↘ ・更新需要中心に回復	↘ ・更新投資が底堅く推移	
自動車関連 	→ ・米関税による設備投資停滞	→ ・HEV需要が生産を下支え ・EVシフトが一服	↘ ・HEV需要が継続 ・高性能部品需要が拡大か	
再生可能 工ネ関連 	→ ・太陽光発電は伸びが鈍化	↘ ・電力需要増加により 蓄電池含め需要に追い風	↘ ・電力需要増加により 蓄電池含め需要継続	電材 電設
建設関連 	→ ・建設案件はあるも工期遅延 や建設の谷間	→ ・建設コスト上昇、人手不足 による工期遅延	↑ ・大型半導体工場、 データセンター建設 ・工期遅延は継続	
銅価格	↔ ・乱高下しながら高値で推移	↘ ・乱高下しながら高値で推移	↘ ・緩やかな上昇	-

SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

市場環境・予測には中東情勢による影響を含んでおりません。

市場環境・予測としてはようやく半導体需要が増えてきました。まずAIではどんどんデータセンターが世界各地、日本も含めて急増しております。

そういった半導体需要に見合うための半導体製造装置の生産増加というのが、当社の業績に大きな影響を与えております。次に工作機械です。人件費が上がってきている中でより工場の自動化、無人化が進められております。次に自動車です。まだ昨年からのトランプ関税の影響が残っていると思います。再生可能エネルギーも2050年のカーボンニュートラルに向けて粛々と進めています。また銅価格の上昇もしばらく続くと想定しております。2026年後半から2027年については、電線業界全般的に明るい状況が続いていくと思っております。

直需・電材



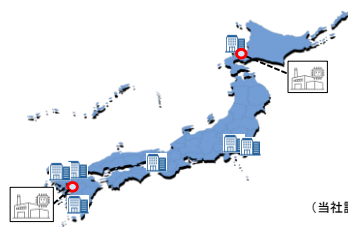
(参考イラスト:生成AIで作成したもの)

オリジナル商品

ケーブルアッセンブリ

- ☑ 半導体製造関連市場、自動化への加速

電設・電材



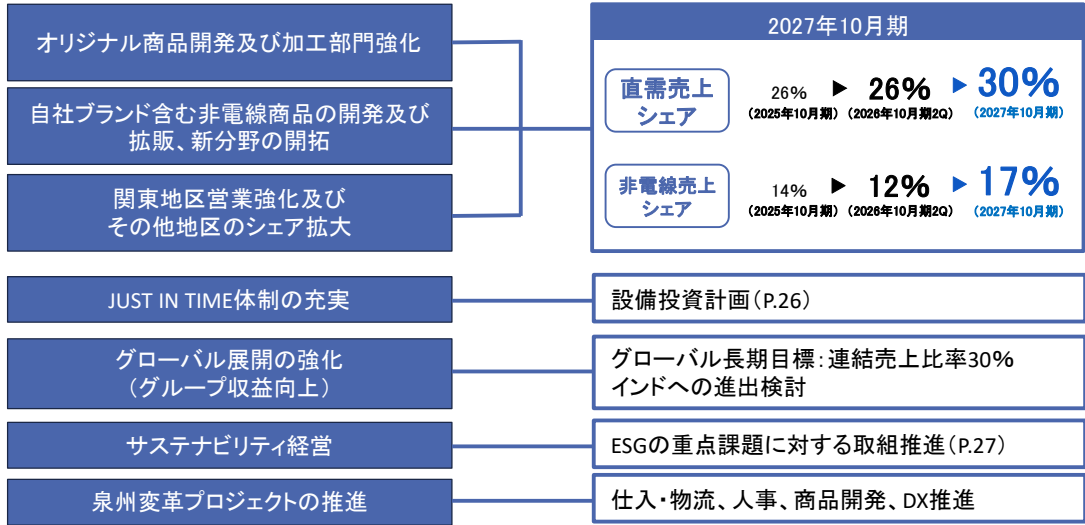
(当社調べ)

JUST IN TIME

- ☑ 国内建設需要
(大型半導体製造工場、データセンター)

SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

そういった中で当社の事業戦略としては、オリジナル商品をさらに拡販していきます。半導体製造装置関係や工作機械、ケーブルアッセンブリなどまだまだこの需要に対応していけると考えております。また、JUST IN TIME体制の充実ということで、国内拠点の整備・拡充を進めていきます。



SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

当社の利益を押し上げている直需関係をさらに伸ばしていくことが、中期の大きなテーマです。電線の主材料である銅の変動が非常に激しくなっており、銅の変動を受けにくい非電線の比率も上げていきたいと考えております。またグローバル比率も上げていくよう進めていきます。

ソイルヒーター

アグリ事業で2027年までに **年間売上高10億円**



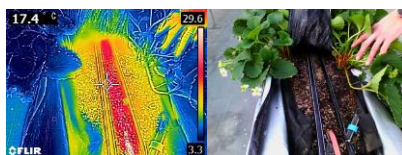
農業用地中加温ビニール線

ビニールハウス等の土壌を直接温めることで
CO2の排出削減に寄与し、
 生育スピードが早まることで
収穫回転率（サイクル）を上げます。



SDGsに貢献

燃料を使用するボイラーに代わり、
 ビニールハウス内を温めることから
脱炭素、省エネ製品です。



試験圃場（稲沢ハウス）

2025年4月名古屋FAセンター近隣へ
ソイルヒーター試験圃場（稲沢ハウス）
 を新築移転しました。
 いちごを中心とした様々な試験を
 行っています。



SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

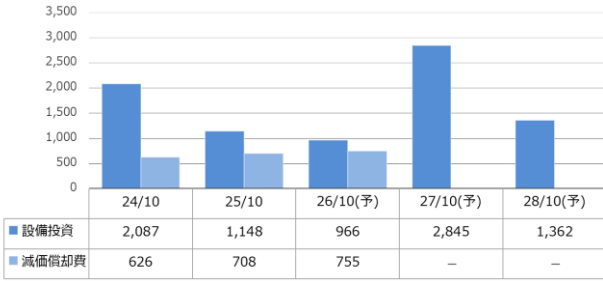
新商品では農業関係のソイルヒーターです。まだまだ目標数値には遠いですが、昨年万博でもPRを行い、非常にお客様からの引き合いが増えております。いろいろな形で試作してもらい、それを使っていただくという形になっております。

土を温めることがメインですが、同じようにヒーターを使ってこのビニールハウス自体の温度を土と空気と両方を温めていくという展開も取っており、さらに進めていきたいと考えております。

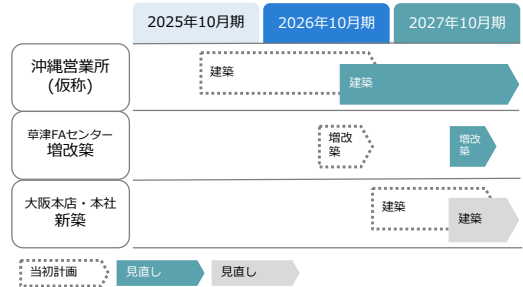
中期経営計画 SS2027：設備投資と減価償却費



(単位：百万円)



設備投資計画の見直し



- 🔨 沖縄営業所 (仮称)：沖縄物流センターの業容拡大のため、計画中
- 🏗️ 草津FAセンター増改築：制御盤製作拡充のため
- 🔨 大阪本店・本社新築：分散建屋を集約

見直し理由

- 工期延長などにより計画を一部見直し

SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

設備投資は若干落ち込みましたが、中期では増えていく予定です。

沖縄営業所、草津のFAセンター、そして大阪の本社・本店の建て替えを進めていきたいと思えます。

Environment 環境	環境保全活動 <ul style="list-style-type: none"> ▶ CO2排出量削減 ▶ 気候変動への対応 ▶ 環境法規制の遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2025年12月 コーポレート・ガバナンス報告書提出 ▶ 2026年1月 コーポレート・ガバナンス報告書提出 ▶ 2026年2月 「泉州電業グループ統合報告書2026」 発刊 ▶ 2026年3月 「健康経営優良法人2026」認定 「2025環境報告書」発刊 女性活躍推進法に基づく「<u>一般事業主 行動計画</u>」策定
Social 社会	人権の尊重と配慮 働きがいのある 職場環境の整備 安定的な商品供給と サービスの供給 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 情報セキュリティ強化 ▶ 品質管理体制の強化 ▶ 取引先・従業員との エンゲージメント向上 ▶ 健康経営の推進 ▶ 安全衛生の充実 ▶ ダイバーシティの推進 ▶ 福利厚生の充実 	
Governance ガバナンス	ガバナンスの強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶ コーポレート・ガバナンスの 充実 ▶ コンプライアンスの徹底 ▶ リスク管理 	

SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

サステナビリティ経営です。全社を挙げて進めております。

キャッシュアロケーション（2025年10月期-2027年10月期）の進捗

営業活動により創出するキャッシュより財務健全性を確保し、投資と株式還元に分ける。

IN		OUT		3年間の累計計画	2025年10月期実績	2026年10月期予想	
営業キャッシュフロー 230億円	事業投資 130億円	株主還元(50%) 120億円		設備投資：100億円 M&A：30億円	設備投資：11億円 M&A：0円	設備投資：9億円 M&A：0円	合計 20億円 (残110億円)
手元預金 300億円		手元預金 280億円		配当金：90億円 自己株式取得：30億円	配当金：26億円 自己株式取得：13億円	配当金：27億円 自己株式取得：11億円	合計 77億円 (残43億円)
				手元預金：280億円 (月商2ヶ月)	現預金：329億円 (2025年10月期末)	-	合計 329億円

SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

キャッシュアロケーションです。今回キャッシュもかなり増えてきておりますので、事業投資、還元を進めていきます。また銅は相場商品ですので、ある程度の手元資金は確保する方針で進めております。

4. 参考資料

電線には「銅電線」「アルミ電線」の2種類があり、当社が取り扱うほとんどが「銅電線」である。銅電線の主材料である銅の価格（銅建値）は、電線を販売する上で重要。銅建値と売上高の推移は次の通り。

国内銅建値は、LME＝ロンドン金属取引所（London Metal Exchange）の国際銅建値と為替を換算し、JX金属により決定されます。

〈銅建値と月次売上高推移（単体）〉



SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

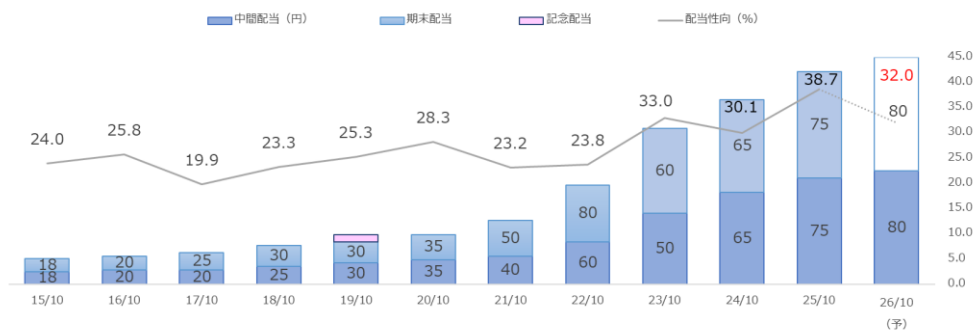
月次売上高と銅建値の推移になります。銅がこの半年間で急上昇しました。当社の売上も銅価格の変動にある程度平行で動いております。

配当金・配当性向の推移



13年連続実質増配予定

(単位：円,%)



(注)当社は2022年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して配当性向を算出。

SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

あと株主還元です。

13年連続の増配で160円への増配となりました。

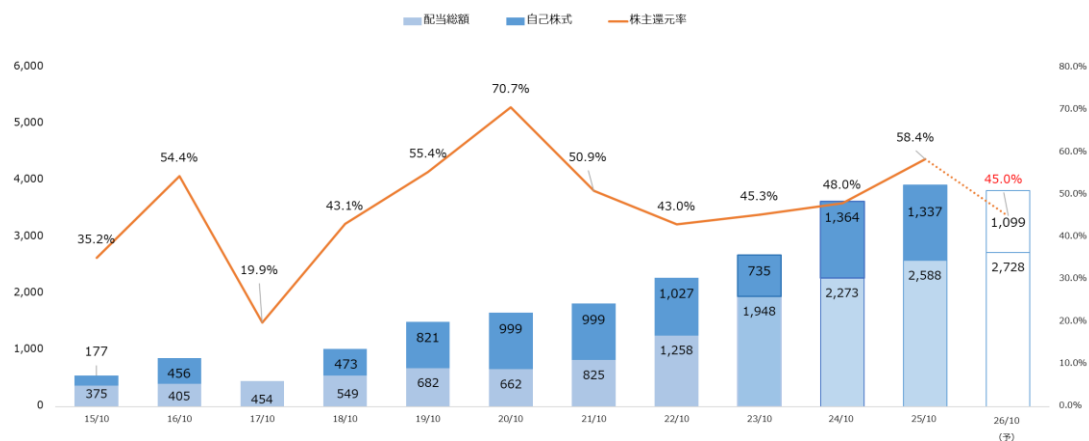
利益の増加と合わせて機動的に配当を増やしていくことができました。

株主還元（配当＋自己株式取得）の推移



(単位：百万円)

配当＋自己株式取得の継続的な株主還元を実施



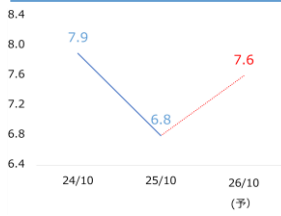
SENSU ELECTRIC CO.,LTD.

33

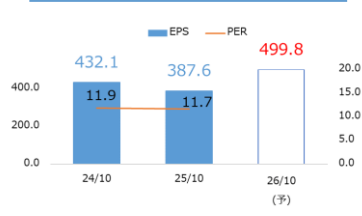
あと自社株買いを含めた株主還元です。

自社株買いを組み合わせ中期では50%という目標を持っておりますので、しっかりと進めていきたいと思っております。

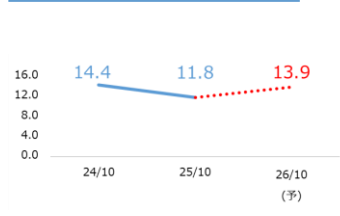
経常利益率 (%)



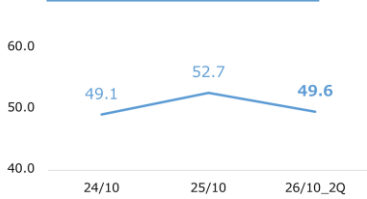
EPS・PER (円,倍)



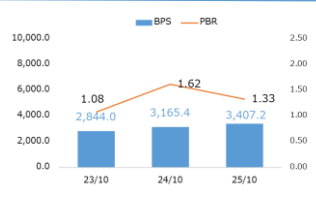
ROE (%)



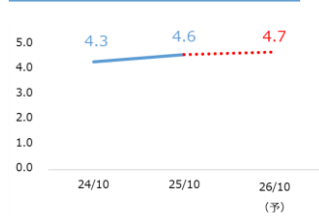
自己資本比率 (%)



BPS・PBR (円,倍)



DOE (%)



SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

あとは各主要指標です。何をどう変えたら更に効率良くこの比率、数値を上げていけるのかを社内で議論しております。

主な指標



	2017年10月期	2018年10月期	2019年10月期	2020年10月期	2021年10月期	2022年10月期	2023年10月期	2024年10月期	2025年10月期
売上高 (百万円)	74,956	82,038	83,676	74,288	92,463	113,633	124,967	136,153	135,591
営業利益 (百万円)	3,202	3,868	3,979	3,124	4,743	7,464	8,366	10,349	8,952
経常利益 (百万円)	3,455	4,105	4,206	3,382	5,004	7,894	8,770	10,761	9,272
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	2,289	2,371	2,714	2,351	3,583	5,314	5,920	7,578	6,717
営業利益率	4.3%	4.7%	4.8%	4.2%	5.1%	6.6%	6.7%	7.6%	6.6%
自己資本比率	58.0%	56.8%	57.7%	59.8%	50.9%	48.4%	49.7%	49.1%	52.7%
ROE	6.4%	6.3%	7.0%	5.9%	8.6%	12.0%	12.3%	14.4%	11.8%
期末株価 *	1,255円	1,304円	1,425円	1,446円	2,382円	2,696円	3,085円	5,130円	4,525円
1株当たりの純資産額 *	1830.83円	1921.82円	2047.40円	2147.90円	2342.59円	2578.24円	2843.95円	3165.42円	3407.21円
PBR	0.69倍	0.68倍	0.70倍	0.67倍	1.02倍	1.05倍	1.08倍	1.62倍	1.33倍
年間配当	45円	55円	70円	70円	90円	140円	110円	130円	150円
配当性向	19.9%	23.3%	25.3%	28.3%	23.2%	23.8%	33.0%	30.1%	38.7%
株主総還元率	19.9%	43.1%	55.4%	70.7%	50.9%	43.0%	45.3%	48.0%	58.4%

2017年11月 東京証券取引所第1部へ上場

2022年4月 東京証券取引所プライム市場へ上場

* 2022年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、期末株価及び1株当たりの純資産額の2021年10月期以前の数値は1/2で表示しております

SENSHU ELECTRIC CO.,LTD.

35

過去の業績の推移です。

まだまだ業績は伸ばしていけると思っておりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました



東京証券取引所 プライム市場
コード 9824

泉州電業株式会社

ご清聴ありがとうございました。

今後とも泉州電業をよろしくお願いいたします。

掲載内容に関する注意事項

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。将来の業績は、様々な要素により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることに留意下さい。本資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さい。
万が一この情報にもとづいて被ったいかなる損害について、弊社及び情報提供者は一切責任を負いません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。
尚、情報は常に最新情報を反映しているものではないことをご承知おき下さい。

